

磐城中正新報

發行日 毎月一日、十五日
 郵税共 一部 金拾錢
 定額 普通欄十二字詰一行
 一回八十場所指定
 同二十錢増
 印刷 編輯 安澤榮作
 發行所 福島縣平町舊城跡四
 磐城中正新報社

平町長後任問題

頗る難産の兆 兩派の策動猛烈

平町長後任問題は期日の切なる如く見ゆるも其の潜勢迫に伴ひ再選派と青沼氏擁護力偉大にして非再選派の見立の非再選派に別れ目下盛る如き微弱なるものにはあんに策動下であるが仄聞すらすと観測する向きもあり所に依ると青沼氏擁護派何れにして茲十日間が最も優勢を示し二十九票の三分開中飛躍兩派の猛撃が演ぜの二は確實と豪語し其の勢られるであらうとは一般のひ當るべからざるものがある 観測である
 一方再選派は鳴りを鎮めて

平銀行の改稱

二月十六日から 各支店長出張所長も 任命發表さる

平銀行と常磐銀行との合併張所長山森正保小高出張所交渉成立に依つて整理一切長真木修尙現在平銀行本店完了と主務省より正式に合勤務の行員中神谷、端山兩併認可を得たので三十年の比の外三名支店出張所員中歴史を有する平銀行もいよ新面目、春松氏外三名の合()解散し二月十六日から計九名が退することとなり常磐銀行平支店となり合併つたが常磐に引繼がれる平後には左の如く任命されたため平銀行解散に伴ふ平支店長中村梅三郎湯本支一萬五千圓の行員退職手當店長谷田部宗造支店長は夫れ()内規に依り四十山本保原町支店長幡谷藤次八名の舊平銀行員全部に分四倉出張所長松本健浪江出配する由である

磐城剣道會

來る十七日發會式 高野、中山兩氏も臨席 役員氏名決定

本郡地方剣道愛好家は過般來より磐城剣道會の創立を計畫中のごころ愈來る十七日午前九時より平町公會堂に於て此れが發會式を舉行することに決したが當日は我國劍道界の第一人者高野三郎、中山博道の兩氏を始め小澤愛次郎教士沼田孫三郎外數名の高段者が列席する筈である尙同會の役員は左の如し

會長	加藤 丈夫
副會長	小野 寛美
幹事	鈴木 忠正
同	山部 隆雄
同	外 七 名
顧問	唐土 齊治
同	猪 狩 清
同	伏見 彦衛
同	外十二名
評議員	大塚 操
同	外二十名

社告

酒谷磐泉 右本月十五日限 り退社し自今本 社に關係無之 右謹告仕り候

昭和四年二月十五日
 磐城中正新報社

新入學兒童

中町では四月一日から就學せしむべき新入學兒童數調査の結果男子三百四十四名女子三百五名で前年より男共十五名宛増加を示してゐるが愈々入學期が切迫するに伴ひ多少の増加は免れぬは毎年の例である尙体格検査は來月廿五日頃行ふ

答	×	×	×
答	×	×	×
答	×	×	×

磐城炭礦の改革

社員の馘首も 相當多數にあらん

磐城炭礦の臨時株主總會は去る十二日午後二時より本此に於いて開會重役二名増員の件を諮り劈頭淺野社長は住吉坑の企業並に經坑の排水作業の經過を詳細に報告し更に一昨不慮の災害を蒙つてより二ヶ年に亘る無配當に至つた苦心を詳報し刻下の急場を救ひ將來の基礎を確立する爲め溢澤家と代表する阪谷男を重役に煩す事となつた事情より更重役となつた理由を氏の重役就任は同礦に以つて合息良三氏を重役と勢力を加へ根本的の一大改爲した旨を述べて萬場に諸君を行ふに至るらしく社員任挨拶あり次に高岡唯一郎の観測されてゐる

信用と地盤の堅固な 高橋龜松氏

長い官吏生活を擧げの如く離散影の如く消えたに不拘平町尼子亭吉田直之助主催各地の神社佛閣名所舊跡を捨て、一足飛びに實業界に入り僅か十餘年の短期間に得たのは熱誠火の様な努力強固なる商業上の地盤と經濟的豊富な實力を築き揚げた事は何れも勿論である然し舊止月の農閑期を利用して其の商業上の位置を築き上り、今では幾多の悪戦苦闘九圓五十錢と云ふ少額なのに、一頭地を抜いては平町白銀町の高橋龜松氏である。實に立志傳中の人である氏に對し、近き締切の盛況を示して、大正七八年の黄金洪水時代は性温良、純情熱血の士にして、義侠心に富み自己の利通り出發は愈々本月二十日午後一時二十一分晴雨に拘害を超越し人の爲めに盡す午後一時二十一分晴雨に拘害を超越し人の爲めに盡す午後一時二十一分晴雨に拘害を超越し人の爲めに盡す

十ヶ年無欠席の 磐城高等女學校生三名表彰

來る三月の卒業式に

磐城高等女學校では來る三表彰することに決定したが月に同校を巣立つ卒業生徒十ヶ年無欠席は容易な事では在學四年間無欠席者なく本人は勿論父兄及家族彰する事になり目下調査中一同の心勢は並大抵の事での所小學校六ヶ年在學中もはなほ尙表彰せらるる生徒無欠席と合せて合計十ヶ年無欠席の三名である
 大浦村 愛川なかり
 内郷村 百足はる子
 赤井村 矢野ふさ子

尼子亭主催の 參宮、遊覽團體

意外の盛況 期日の切迫と申込殺到

各地の神社佛閣名所舊跡を訪ひ廿六日朝東京驛着同驛長贊助の伊勢、京都、奈良に於て解散の豫定である
 加藤政久翁逝去
 内郷村小島素封家加藤丈夫氏嚴父政久翁は豫て病氣療養中の處去る十二日午後一時八十三歳の高齡を以つて逝去した本日平火葬場に於て茶毘に附し來る二十七日午後一時自宅出棺平町松堂院に於て葬儀執行の筈である

職業紹介業 山本健治郎

湯本町

職業紹介業 渡邊茂雄

湯本町

職業紹介業 木村仁吉

湯本町

呉服 雜貨 商 佐藤商店

内郷村綴(藤柵)

大日本炭礦

田子洋行

勿來町

廣部炭礦

遠藤長太郎

勿來町

外科

花柳科 耳鼻科 一般科

婦人科

産婦人科

×内光線科

入院隨意自炊の便あり

赤心堂病院

(五七四電)町田町平

電燈より接続してすぐ寫る

家庭活動寫眞機

パテーベビー活動寫眞機

映寫器 八〇、〇〇

撮影器 六五、〇〇

フィルム 一本二、〇〇 二、五〇

生フィルム 一本一、〇〇

市内はお伺ひして御覽に供します

御申越次第カタク進呈

平町二丁目

パテーベビー社 西村屋藥舖

電話三番

平町五丁目

大竹酒店

電話二三二番

三井ハキ物店

平町二丁目 電話一五六番

平町四丁目

荒物商 伊勢屋商店

電話四五番

ぢ……痔の

一大最新藥の發見

高級内服藥 ダイサン錠

平町五丁目

特約店 山野邊藥局

三三三

青山易斷所

青山而象

平町古鍛冶町

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式会社特約代理店

和洋銅鐵 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

平町藝妓屋組合

平町料理屋組合

◎特賣◎

たひら正宗 福島縣清酒品評會 一等賞 受領

花春 優等賞 受領

醬油釀造元

山崎合名會社

平町(電話一〇番)

蒲鋒の御用は是非

藤市へ

蒲鋒製造折詰類仕出し

店主 遠藤市松

平町二丁目(電話三〇五番)

平三業保健組合